「志五中だより」

～響き合う学びのエリア　志五中・舟渡小ブロック～

【教育目標】・自ら考え行動し　進んで学ぶ人
・思いやりの心をもち　社会に貢献できる人
・豊かな情操と体力をはぐくみ　心身ともに健康な人

令和７年度　第５号
令和７年８月２９日発行
板橋区立志村第五中学校
校長　溝口　千里

９年生 全国学力・学習状況調査の結果と本校の取組について

４月に、全国の公立中学校３年生を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果について、概要と今後の本校の取組をご報告いたします。

調査結果の概要

調査の結果、本校の生徒たちは国語・数学・理科の基礎的な知識・技能において全国平均を上回り、日々の学習の成果がしっかりと表れていることが確認できました。

教科	本校平均正答率	東京都平均	全国平均
国語	59.0%	57.0%	54.3%
数学	52.0%	53.0%	48.3%
理科	53.3%	48.3%	48.3%

生徒質問紙から見える本校の強み

特に理科教育に関する項目で、全国平均との差が大きく、本校の学びの深まりが顕著に表れました。

・「理科の学びを生活に生かしている」＋26.6p
・「理科の学習は将来役立つと思う」　＋21.8p
・「理科の勉強は好き」　＋21.3p

など、理科教育の充実度が数値にも裏付けられています。

また、ICT を活用したプレゼンテーション作成や、学級活動での話し合い・意見交流の実践も全国平均を大きく上回りました。話し合いの成果を自分の努力につなげる姿勢も育まれており、ICT 活用力・協働的な学び・主体的な実践力が本校の強みです。

さらに国語の授業では、教師の的確な助言や生徒自身の振り返りによって、表現を磨く学習習慣が定着していることも確認されました。

学習全般や生活習慣に関する設問では、

・地域の大人との関わり　＋8.1p
・自然体験の豊かさ　＋7.5p
・自分と異なる意見を楽しむ態度　＋5.9p
・学びを生活に生かそうとする姿勢　＋4.5p

などが本校の特徴として示されています。これらは、生徒が多様な体験を通して成長していることの表れです。

今後の課題

一方で、この４月の調査の時点では、「困りごとや不安を先生や学校の大人に相談できるか」（－11.8p）が全国平均を大きく下回りました。生徒が安心して相談できる関係づくりや、気軽に声をかけられるような関係づくりを進めているところです。

また、

・「人の役に立つ人間になりたい」　－3.5p
・「自分で学び方を考え、工夫できる」－3.3p

についても全国平均をわずかに下回りました。これは、生徒が将来像を描き、主体的に学びを深める力の育成が求められていることを示しています。

理科の学力調査はパソコン端末で実施しました。

（次ページにつづく）

今後の学校の取組

すでに改善に取り組んでいるところですが、今後も引き続き、

・生徒が安心して悩みを打ち明けられる学校風土の醸成
・授業や学級活動を通した「学び方を工夫する経験」の重視
・「人や社会に役立ちたい」という意識を育む教育活動の推進

に力を入れてまいります。これらの取組を通して、生徒が心の安心と学びの自信をもって成長できる学校づくりを進めていきます。

ご家庭へのお願い

調査の結果は、学校の教育活動だけでなく、ご家庭での学習習慣や生活習慣とも深く関わっています。引き続き、基本的な生活習慣の確立や家庭での学びの支援についてご協力をお願いいたします。

理科の学力調査中の９年生の様子です。

校　門　の サ ク ラ を 伐　根　し ま し た

校門に向かって左側のサクラ			
校門に向かって右側のサクラ			

老朽化のため５月 16 日に伐採した校門脇の２本のサクラについて、伐根作業が終了しました。長年にわたり根を張ってきた大木であったため、幹の内部をくり抜くような形での伐根となりました。

伐根後の跡地の活用については、現在計画を進めております。詳細が決まりましたら、改めて学校だよりでお知らせいたします。

お知らせ

今月号の「志五中だより」は「すぐーる」および学校ホームページのみの配信です。紙面での生徒配布はありませんのでご了承ください。

【生徒の活躍の様子は学校ホームページ
（学校日記）をご覧ください】

https://www.ita.ed.jp/1320134/weblog

※右の二次元コードをスマートフォンで読み取るか、デジタルデータ上で左の URL をクリックしていただくと、学校ホームページをご覧いただけます。